

町の発展を誓う 賀詞交歓会

1月5日、コミュニティセンタ
ー城里で「平成19年新春賀詞交歓
会」を開催しました。町内各界の代
表者や行政関係者など約200人
が出席。町の経済活性化や発展へ
の決意を新たに、新年のあいさつ
を交わしました。

発起人を代表し金長町長は、消
防署所設置、デマンドタクシー導
入、グリーンツーリズム、未給水
地区解消事業など町が進めている
主要施策に触れた上で、「城里町の将来像『人
と自然が響きあい、ともに輝く住みよいまち』
づくりに向けて努力していきたい」と決意を
述べました。



町民憲章の唱和



和やかに歓談

消防出初め式

1月7日、平成19年の新
春を飾る消防出初め式が、
常北中学校の校庭を会場に
行われました。式には町消
防団員など約450人が参
加。勇壮な分列行進を披露
しました。

また、消防庁長官表彰の
伝達をはじめ各種表彰が行
われ、長年活動が続けた消
防団員や優良分団など7個
分団・131人に、表彰状
や感謝状が贈られました。



地域の防災のために「チカラ」を發揮してみませんか

消防団は、仕事を持ちながらも「自分たちの町は自分
たちで守る」という精神で、火災発生時の消火活動、地
震や風水害等の災害発生時における救助救出活動、避難
誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、町民の皆さんの生
命や財産を守るために活躍しています。また、平常時に
おいても、防火活動、特別警戒など、地域防災の向上の
ための重要な役割を担っています。しかしながら、消防
団を取り巻く環境も変化しており、消防団員数の減少、
高齢化などの問題に直面しています。

このような課題に対応するために最も大切なのは、地
域に暮らす皆さんの消防団活動に対するご理解とご協力
であり、一人ひとりが地域の安全に対して関心を持つこ
とです。

あなたも町を守るため、消防団活動に参加してみませ
んか。
問合せ 総務課消防防災G ☎029-288-3111

県ふるさと美術展 町から2人が入賞

農村漁村の自然や生活などを絵画や写
真で表現する「第20回茨城県ふるさと美術
展」が、12月14日から18日まで開催されま
した。この美術展の写真の部において、出
品作120点の中から、石塚にお住まいの、加
瀬勤さんと大皇和良さんの2人がそれぞれ
受賞されました。おめでとうございます。



茨城県町村会会長賞
「年の瀬」 大皇 和良



茨城県農業共同組合中央会会長賞
「収穫の日」 加瀬 勤

小松小ワーホイ集會

1月12日(金)に小松小学校で、全児童77人と小松地区の高年者クラブ会員68人が参加し、地域に伝わる伝統行事「ワーホイ」を楽しみむ集いが開催されました。ワーホイとは、小正月に行う火祭りの行事。正月飾りやお供え、書初め等を焼き、その年の無病息災を祈願します。



まず児童たちは、おはじきやベーゴマ、竹馬といった昔の遊びを行う「ふれあい教室」で高齢者との交流を楽しみました。その後、ワラや竹、枯れ木、そして児童が願いをこめて書いた書初めなどを集めて作った塔に、高年者クラブの代表者が点火。空高く燃え上がる炎の前で、児童と高齢者は「ワーホイ、ワーホイ、いつも元気な小松っ子、いい夢みんなかええましよう」などと声をそろえて叫び、今年一年の健康と幸福を祈りました。

児童を代表し、袴塚玲央くん(6年生)が「小松小はおじいさんやおばあさんとの触れ合いの場をととても大切にしている。これからワーホイ集會が続いていって欲しい」と話しました。また、小松地区高年者クラブ会長の園部豊三さんは「伝統行事の体験が子ども達の思い出のひとつまになれば嬉しい。今後も高齢者・地域・学校のつながりを大事に続けたい」と笑顔で語ってくれました。



ねんりんピック茨城2007キャラバン隊

青山小、沢山小、七会東小を訪問

今年11月10日から13日にかけて、茨城県で「ねんりんピック茨城2007(第20回全国健康福祉祭茨城大会)」が開催されます。この大会に、町では青山小学校、沢山小学校、七会東小学校が「一校一県交流運動」の協力校として参加します。この運動は、各小学校児童が「ハッスルきつず隊」として、大会に参加する都道府県や政令指定都市の66選手団の一つを応援していくもの。青山小が北海道、沢山小は高知県、七会東小は熊本県をそれぞれ応援し、その県の歴史や文化を理解する調べ学習なども進めながら交流を図っていきます。



北海道を応援! 青山小



高知県を応援! 沢山小



熊本県を応援! 七会東小



大人気のハッスル黄門



指定書の交付

1月17日には各小学校を、大会マスコットの「ハッスル黄門」や「助さん格さんサポーター」等のキャラバン隊が訪問。児童代表に「ハッスルきつず隊指図書」や記念品が手渡され、ねんりんピックに関するクイズなどが行われました。

青山小の鯉淵佳奈さん(5年生)は「大会が今から楽しみ。真心をもって北海道を応援したい」と力強く決意を述べました。また、大会をPRしていく「助さん格さんサポーター」の一人、加藤木裕美さん(孫根)は「頑張ってください」と笑顔で話しました。